



ヒューマンインタフェースシンポジウム 2016 2016年9月6日(火)～9月9日(金) 東京農工大学 小金井キャンパス



明日への扉

モバイル端末が普及し、マルチタッチパネルが当たり前になって、グラスディスプレイや腕時計型端末までもが市場に出回りつつあります。電気自動車が市販され、ワイヤレス給電やインターネット家電も珍しくなくなり、少し前ならSFの中にしかなかった時代が現実になりつつあります。コンピュータが、車が、ロボットが、エネルギーが、そうして、これらとのインタフェースが、さらには私たちの生活が変わりつつあります。

産業革命以前から、機械や道具は人の物理的な活動を拡大してきました。さらに、コンピュータを中心とする様々な装置は、人の知的活動の範囲も拡大してきました。人間は考える葦であると言ったのはパスカルだそうですが、人類の可能性をより大きく広げるためには、どうしたら人の知的活動を支援できるか、を考えずにはいられません。

人が自分の思考を表現し誰かに伝える、あるいは残そうとするときに、道具が不便だと思っそのものを阻害しかねません。思考を表現する道具が言葉しかないなら、思考は言葉の枠の中に閉じ込められてしまいます。とは言っても、私たちにはテレパシーの能力はありません。

では、どのような装置を作って、どのようなインタフェースにすれば、私たちの知的活動を最大化することができるのでしょうか。それは、私たちの心の中を読み取る装置なのでしょうか。それとも、私たちの代わりに考えてくれる装置なのでしょうか。私には答えはわかりません。ただ、言えることは、どんな装置を作ったとしても、常に主役は人であり、人と装置の間にはインタフェースが必要だということです。

より素晴らしい明日に向け、ヒューマンインタフェースに何ができるか、皆様と一緒に、明日への扉を創り出す第一歩をこのシンポジウムで歩み始めることができれば幸いです。シンポジウム会場でお目にかかることを楽しみにしています。

大会長 藤田 欣也 (東京農工大学)

■主催：特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会

■協賛学会

医療の質・安全学会、ウェアラブル環境情報ネット推進機構、映像情報メディア学会、横断型基幹科学技術研究団体連合、応用物理学会、教育システム情報学会、計測自動制御学会、システム制御情報学会、自動車技術会、照明学会、情報処理学会、人工知能学会、シンビオ社会研究会、精密工学会、電子情報通信学会、日本 VR 医学会、日本応用数理学会、日本顔学会、日本化学会、日本感性工学会、日本機械学会、日本建築学会、日本原子力学会、日本航空宇宙学会、日本色彩学会、日本手話学会、日本神経回路学会、日本生活支援工学会、日本生体医工学会、日本ソフトウェア科学会、日本知能情報ファジィ学会、日本デザイン学会、日本人間工学会、日本バーチャルリアリティ学会、日本保全学会、日本リハビリテーション医学会、日本リハビリテーション工学協会、日本ロボット学会、人間中心設計推進機構、バイオメカニズム学会、モバイル学会、サービス学会



■日程表

	12号館1階 1211	12号館1階 1212	12号館1階 1217	
10:00 ~ 17:30 ※各講習会ごとに時間は異なる	講習会 1	講習会 2	講習会 3	
	12号館1階 1216	12号館1階 1212	12号館1階 1213	12号館1階 1217
10:00 ~ 11:30	ワークショップ 1			
17:00 ~ 18:30	ワークショップ 4	ワークショップ 2	ワークショップ 3	ワークショップ 5
	A 会場 (13号館 2階 1321)	B 会場 (講義棟 2階 0021)	C 会場 (講義棟 2階 0022)	D 会場 (講義棟 2階 0023)
10:20 ~ 12:00	行動とモデル 1	生理・心理	情報サービスの デザイン	身体的 インタラクション 1
13:00 ~ 14:20	対話発表 (会場: BASE 棟 1 階)			
14:40 ~ 16:00	知覚・認知 1	障害者・高齢者支援 1	学習・教育支援 1	生活インタフェース
16:15 ~ 17:55	コミュニケーション 1	医療・健康 1	モバイル・ ウェアラブル	インタフェース デザイン 1
9:00 ~ 10:20	非言語 コミュニケーション	障害者・高齢者支援 2	学習・教育支援 2	
10:35 ~ 11:55	知覚・認知 2	医療・健康 2	VR・AR	交通・安全
13:00 ~ 14:20	対話発表 (会場: BASE 棟 1 階)			
14:50 ~ 15:50	招待講演 1 (会場: 1 号館 1 階グリーンホール)			
16:10 ~ 17:10	招待講演 2 (会場: 1 号館 1 階グリーンホール)			
17:40 ~ 19:40	イブニングセッション (会場: エリプス 3 階)			
9:00 ~ 10:20	入出力デバイス	障害者・高齢者支援 3	身体的 インタラクション 2	感性・情動 1
10:35 ~ 11:55	知覚・認知 3	学習・教育支援 3	エンタテインメントと 学び	運転者支援
13:00 ~ 14:20	障害者・高齢者支援 4	視線インタフェース	ユーザビリティ	感性・情動 2
14:35 ~ 16:15	行動とモデル 2	医療・健康 3	コミュニケーション 2	インタフェース デザイン 2
16:30 ~ 17:00	クロージングセッション (会場: A 会場 (13 号館 2 階 1321))			



● 9月6日（火）

■ 講習会

コース 1（10:00～17:30）

「ユーザーリサーチとサービスデザイン：

演習で理解する革新的なサービス改善の考え方と実践法」

※参加者は 20 名程度となります。応募人数多数の場合は抽選とさせていただきます。

コース 2（10:00～16:30）

「楽しむプログラミングのためのファシリテーションの学びと実践」

※午後の部への参加希望の場合は参加登録時の備考欄に「午後の部参加希望」と記載下さい。

コース 3（13:00～16:00）

「プロジェクションマッピングの実際」

■ コース 1

「ユーザーリサーチとサービスデザイン：

演習で理解する革新的なサービス改善の考え方と実践法」

（10:00～17:30 12号館 1階 1211）

協賛：サービス学会

本講習会は、ユーザーリサーチに基づいたサービスデザイン（SD）のアプローチについて、講義とワークショップにより体験的に理解することを目的とする。実際に改善課題を設定し、調査計画立案から調査及びその結果分析、結果を踏まえた提案に至る過程を演習する。また、単にワークショップにおける一時的な成果を目指すだけでなく、調査法により得られる情報の違いや実践における課題点の理解などに力点を置く。そこで、UX・SDの経験があるSIG-UXSDの幹事を中心としたメンターをワークグループに配置し、共に考える体験を通して理解を深める内容を計画している。なお、参加予定者には事前に簡単なアイデア出しの課題を実施する予定である。

※参加者は 20 名程度となります。応募人数多数の場合は抽選とさせていただきます。

応募多数の場合は、8/15（月）に募集を締め切り抽選とさせていただきます。

ご参加いただける方には、8/22（月）までにご連絡します。

オーガナイザ：谷川 由紀子（NEC）

略歴：東北大学文学部卒業。NEC 中央研究所主任研究員を経て、2016 年より現職、教育工学、認知科学、ヒューマンインタフェースの研究に従事。日本教育工学会、日本認知科学会、ヒューマンインタフェース学会、情報処理学会、電子情報通信学会各会員。

専門分野：教育・学習現場における認知科学、質的分析。人間中心設計のシステム開発現場への適用。



講師：安藤 昌也（千葉工業大学）

略 歴：早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。2009年総合研究大学院大学文化科学研究科メディア社会文化専攻博士後期課程修了。博士（学術）1998年アライド・ブレインズ（株）取締役、早稲田大学非常勤講師、国立情報学研究所特任研究員などを経て、2008年産業技術大学院大学助教。2011年千葉工業大学工学部デザイン科学科准教授、2015年同教授、2016年より現職。ユーザエクスペリエンスデザイン（UXD）や人間中心設計（HCD）などの研究・教育に従事。2008年3月ヒューマンインタフェース学会論文賞、計測自動制御学会 SI2008 優秀講演賞、日本 e-Learning 学会奨励賞受賞、2013年3月ヒューマンインタフェース学会研究会賞、2016年 HCD-Net 優秀講演賞、優秀ポスター賞受賞。ヒューマンインタフェース学会、日本消費者行動研究学会、Usability Professionals' Association、人間中心設計推進機構などの各会員。

専門分野：UX デザイン、人間中心デザイン、認知心理学

主要図書：『UX デザインの教科書』丸善出版、2016。



講師：中谷 桃子（NTT アイティ）

略 歴：2003年早稲田大学大学院理工学研究科修了。同年 NTT サイバーソリューション研究所（現：NTT サービスエボリューション研究所）入社。以来、コンタクトセンタの応対改善、マニュアルデザイン、新規サービス創造、シニア向けサポートデザイン等、ICT サービス利用の支援を行うとともに、研究活動を展開。2014年より現職。ここを動かす ICT デザイン部を立ち上げ、UX デザインに関するコンサルティングサービスを提供中。工学博士。

専門分野：人間理解に基づくサービスデザイン、UX デザイン。特に、ICT サービス利用における人間の認知・行動・心理特性の理解と支援。

■コース2

「楽しむプログラミングのためのファシリテーションの学びと実践」

（10:00～16:30 12号館1階1212）



協賛：NPO 法人 CANVAS 遊びと学びのヒミツ基地

プログラミングの学習者たちが自発的に知識やスキルを身につけていく環境を設計し、実践していくことができるファシリテータになるための講義と、そこで学んだことをプログラミング初修者に対して実践する実習（希望者）から構成される体験型の講習会です。

午前の講義では、プログラミング学習環境 ScratchJr を用いて、プログラミングの知識やスキルを学習者が楽しみながら身につけられる学習環境の作り方を学びます。午後の実習では、会場を東京農工大学から品川区立京陽小学校へ移して講師役を体験していただきます（午後のみ希望者を抽選）。

※京陽小学校は2014年から児童一人に一台配布した「Raspberry Pi」を活用し、通常の授業へプログラミングを取り入れている学校です。

※利用会場が午前と午後で異なりますのでご注意ください。

午前の部：10:00～12:00（東京農工大学）

午後の部：14:30～16:30（品川区立京陽小学校）【人数多数の場合は希望者から抽選】

※午後の部への参加希望の場合は参加登録時の備考欄に「午後の部参加希望」と記載下さい。



オーガナイザ・講師：竹内 勇剛（静岡大学）

略 歴：1996年3月名古屋大学大学院人間情報学研究科社会情報学専攻修士（学術）、1999年3月博士（学術）。1996年11月よりATR知能映像通信研究所、2001年4月より現職。

専門分野：HAI、認知科学、人工知能、ヒューマンインタフェース／HCI

主要図書：山本紗織、竹内勇剛：返報義務感を低減させる Human-Agent Interaction デザイン、知能と情報（日本知能情報ファジィ学会）、Vol.27, No.6, pp.898-908 (2015)。ほか多数。



講師：阿部 和広（青山学院大学／津田塾大学）

略 歴：1987年より一貫してオブジェクト指向言語 Smalltalk の研究開発に従事。パソコンの父として知られ Smalltalk の開発者であるアラン・ケイ博士の指導を2001年から受ける。Squeak Etoys と Scratch の日本語版を担当。近年は子供向け講習会を多数開催。OLPC（\$100 laptop）計画にも参加。2003年度IPA認定スーパークリエイター。文部科学省プログラミング学習に関する調査研究委員。

専門分野：プログラミング教育

主要図書：小学生からはじめるわくわくプログラミング、小学生からはじめるわくわくプログラミング2（日経BP社）ほか多数。

■コース3

「プロジェクションマッピングの実際」

（13:00～16:00 12号館1階1217）

現実とイマジネーションが実空間で融合し、見る者を魅了するプロジェクションマッピング。その表現技術はボールに包れているように思われていますが、実は大きなものから小さなものまであり、その表現も2D、3D、立体視までさまざまな種類があります。本セッションでは、それらプロジェクションマッピングの全体像を俯瞰するとともに、プロジェクションマッピング用の送出ソフトウェアを用いて、実際に小規模な投影を行いながらその仕組みを解説します。是非この機会にプロジェクションマッピングの効果を体験してみてください。

オーガナイザ：山本 欧（東京電機大学）

略 歴：1995年慶應義塾大学大学院博士課程単位取得退学、1996年東京電機大学工学部電子工学科助手、1999年同助教授、2007年同大学工学部電気電子工学科准教授、2009年同教授、現在に至る。博士（工学）。

専門分野：3Dディスプレイを用いた可視化応用



講師：町田 聡（アンビエントメディア）

略 歴：1979年和光大学人文学部芸術学科現代美術卒業。デジタルビデオ機器開発メーカーの商品開発、医学教育3DCGプロダクション取締役、その後、日本SGIのデジタルサイネージ、コンテンツサービス担当部長を経て、2009年からはフリーランスで、プロジェクションマッピングや3D映像、VR、ARの制作や開発プロデュースを行う。

専門分野：プロジェクションマッピング、3D立体視、VR、ARなどの表現技術

主要図書：「はじめての3D映像制作」2011年 オーム社

「3D技術が一番わかる（しくみ図解）」2013年 技術評論社



■ワークショップ

- WS1 「人を対象とする研究の倫理的配慮～看護医療分野の観点から～」
(10:00～11:30)
- WS2 「ボードゲームは学びのインタフェースになるか？」
(17:00～18:30)
- WS3 「ハードウェアにちょっと手を出してみるワークショップ」
(17:00～18:30)
- WS4 「真剣 WAKATE しゃべり場」(17:00～18:30)
- WS5 「身体化認知研究のインタフェースデザインへの応用可能性」
(17:00～18:30)

■ワークショップ 1 (10:00～11:30 12号館1階1216)

「人を対象とする研究の倫理的配慮

～看護医療分野の観点から～」

企画：看護用具・用品開発に関わる専門研究委員会（SIGHC）

人を対象とする研究では、倫理的配慮が重要です。近年、研究の倫理的配慮に対する本学会会員の関心度が高まり、学会での議論も深められつつあります。看護用具・用品開発に関わる専門研究委員会では、多くの委員が看護医療分野の研究者や臨床家です。人を対象とする看護医療分野の研究では、適切な倫理的配慮が求められることから、委員会には研究倫理に関する知見やノウハウが蓄積されています。そこで、今回、看護医療分野の倫理的配慮を基盤として、ヒューマンインタフェース分野における研究の倫理的配慮のあり方について、会場の皆様と議論をしながら、考えを深めていきたいと存じます。

《内容》

1. 委員長挨拶 常盤拓司
2. 話題提供
 - ①大学における倫理審査委員会の役割と現状
西山 敏樹（審査のポイントや現行の問題提起）
 - ②看護医療分野における研究の倫理的配慮
西山 里利（各学会の倫理規程の紹介や具体的な倫理的配慮の視点）
 - ③ワークショップにおける倫理的配慮
塩瀬 隆之（協力者への依頼方法と承諾、肖像権等）
 - ④HI学会における研究倫理の意識調査
大須賀 美恵子（HI研究での倫理のあり方）
3. パネルディスカッション
 - ・ヒューマンインタフェース分野における研究倫理とは
 - コーディネーター：西山 敏樹 パネリスト：大須賀 美恵子、塩瀬 隆之、西山 里利
 - HI研究での倫理的配慮とはどのような姿が望ましいのか？会員の参考となる情報提供や問題提起を行う場にいたします。

オーガナイザー：西山 敏樹（東京都市大学）

問い合わせ先：西山 敏樹（nishibus@tcu.ac.jp）



■ワークショップ2 (17:00～18:30 12号館1階1212)

「ボードゲームは学びのインタフェースになるか？」

企画：コミュニケーション支援専門研究委員会（SIGCE）

近年、アナログのボードゲームがもつ学習効果が注目を集めており、防災学習や組織学習などコミュニケーションをテーマにした教材も開発されています。HI学会コミュニケーション支援専門研究委員会（SIGCE）では、これまで人のコミュニケーションを支援するシステム研究を大きなテーマとして取り上げてきましたが、本ワークショップではあえてアナログの世界からコミュニケーションに注目することで、今後のシステム研究における新たな視座を得ることを目的としています。

ふだんのインタフェース開発やインタラクション研究など、デジタルの世界とは少し違った角度からコミュニケーション支援研究に迫ってみたいという方は、是非ご参加下さい。また、実は〇〇のボードゲーム開発をしてみたかった、など持ち込みテーマのある方のご参加も歓迎いたします。

オーガナイザー：塩瀬 隆之（京都大学）

山本 知仁（金沢工業大学）

登壇予定者：松尾 壮紘（アークライト）

塩瀬 隆之（京都大学）、他

問い合わせ先：塩瀬 隆之（meti@live.jp）

山本 知仁（tyama@neptune.kanazawa-it.ac.jp）

■ワークショップ3 (17:00～18:30 12号館1階1213)

「ハードウェアにちょっと手を出してみるワークショップ」

企画：アクセシブル・インタフェース専門研究委員会（SIGACI）

アクセシブル・インタフェース専門研究委員会（SIGACI）が企画する今年のワークショップは、「ものづくり系」です。福祉工学関連に興味のある学生さんたちのうち、これまでハードウェアに興味はあったけれど一歩が踏み出せなかった初心者の方が対象です。内容としてはArduino互換機に加速度センサをつけて「何かを作る」ことを予定しています。パソコンはご持参ください。材料に限りがあるため、先着6名の予定です。この機会にぜひ、「ハードウェアにちょっと手を出して」みてはいかがでしょうか。

オーガナイザー：小林 真（筑波技術大学）

問い合わせ先：小林 真（koba@cs.k.tsukuba-tech.ac.jp）

■ワークショップ4 (17:00～18:30 12号館1階1216)

「真剣 WAKATE しゃべり場」

企画：HI若手の会（HIST）・日本顔学会若手交流会・日本心理学会若手の会

HI若手の会（HIST）が現在抱える深刻な問題は、世代交代がうまくできていないことにあります。実際、2013年以降次の担い手が見つかっていません。それほど小さくないHI学会ですらそのような現状ですから、他の学会の若手の会でも同様の問題や悩みを抱えていることは想像に難くないでしょう。今回、私たちはそのような現状の根本的な原因を話し合うためにワークショップを企画します。そのために、本ワークショップでは、HI若手の会だけでなく、他学会の若手会の方々をお呼びして、活動内容、悩みや課題の共有をします。また、悩みや課題を知ることを通して若手の会とはどうあるべきかについても議論します。



具体的には、各学会の若手の会から代表メンバーを招いて学会の性質や活動内容を発表し合うことで、互いの分野について知識を深めます。その後、それぞれの現状や抱える悩みを紹介します。各若手の会の代表メンバーの発表をもとに会場全体で議論を行い、若手の会は今後どうあるべきかを探ります。登壇者として、HIST メンバーの他に、日本顔学会若手交流会および日本心理学会若手の会からのメンバーが参加を予定しております。

オーガナイザー：國政 秀太郎（HIST）

登壇予定者：HI 若手の会メンバー

日本顔学会若手交流会

日本心理学会若手の会

の若手メンバー

問い合わせ先：國政 秀太郎（kunimasa@ei.energy.kyoto-u.ac.jp）

■ワークショップ5（17:00～18:30 12号館1階1217）

「身体化認知研究のインタフェースデザインへの応用可能性」

身体化された認知（embodied cognition）との、認知情報処理の身体状態や感覚運動と環境との相互作用によって形づくられるとする研究の枠組みで、近年、認知科学、社会心理学、認知言語学等の諸分野において、興味深い実験結果が多く報告されています。環境統制によってユーザの身体・感覚状態を特定の状態に誘導することができるのであれば、設計者の工夫で人工物とのインタラクションにおいてユーザにとって望ましい状態をつくり出すことができるかもしれません。

本ワークショップでは、大きな腕回しによるクリエイティビティの向上、および知覚情報と身体運動との関係性に関する研究を基礎としたインタフェース設計への提言（永井）、仮想環境とVRヘッドセットによって与えられるバーチャルな感覚情報がリアルな身体感覚を生じ、さらに社会的な判断に影響することを示した研究（藤）などの複数の実験結果、さらに身体化された認知によって人工物へのインタラクション（エージェントに対する親密度評価など）をも変容させる可能性を示す研究事例（西崎）を報告し、身体化認知研究をインタフェース設計に活かす意義と術について、フロアとともに議論したいと思います。

オーガナイザー：西崎 友規子（京都工芸繊維大学）

登壇予定者：永井 聖剛（立命館大学）

藤 桂（筑波大学）

西崎 友規子（京都工芸繊維大学）

問い合わせ先：西崎 友規子（yukikon@kit.ac.jp）

●9月7日（水）

■一般発表（46件）

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■対話発表（26件）

（13:00～14:20 BASE棟1階）

発表プログラムは後ページをご参照下さい。



● 9月8日（木）

■ 招待講演 1 （14:50～15:50 1号館1階グリーンホール）



「インタラクティブな知能 ーインテリジェンスからインタラクションへー」 山田 誠二（国立情報学研究所）

現在人工知能 AI が第3次ブームと言われているが、AI が人間と同じ適用範囲、同じレベルの知能を実現することは難しい。AI が苦手な人間が得意とする能力、またその逆の能力は現存し、今後その境界がよりはっきりとしていくと考えている。そして、その先にある AI の望ましい姿にとって、人間とうまく役割分担をして共生していくことが最重要の方向と考える。そのためには、人間と AI を自然に効率よく結びつけるヒューマンインタフェース HI の技術が不可欠であり、HI と AI がインタラクティブな知能の実現へと歩み寄って進んでいくことが期待される。本講演では、このような方向性を持つ研究プロジェクトである、ヒューマンエージェントインタラクション HAI と知的インタラクティブシステム IIS の紹介を通して、スタンドアローンの人工知能からインタラクティブな人工知能へのパラダイムシフトについてお話をさせていただきたいと思う。

プロフィール：1984 年大阪大学基礎工学部卒業。1989 年同大学院基礎工学研究科博士課程修了。工学博士。1989 年大阪大学基礎工学部助手。1991 年大阪大学産業科学研究所講師。1996 年東京工業大学大学院総合理工学研究科助教授。2002 年国立情報学研究所教授、現在に至る。



■招待講演 2 (16:10 ~ 17:10 1号館 1階グリーンホール)

「待ったなしの「現場」に適應した

新ドキュメント処理とは」

浮川 和宣 (MetaMoJi)



私は長年パソコン用ドキュメント・ソフト「一太郎」や「花子」にかかわってきました。2009年現在のMetaMoJiの設立でその世界とは一旦離れていましたが翌年iPadの出現で「誰でも使えるコンピュータ」の実現や更に適應が難しかった場面にも対応できるようなアプリケーションを実現しようと新しいチャレンジを始めました。

その成果の1つが手書き日本語変換ソフト「mazec」でありドキュメントソフト「MetaMoJi Note」です。

対応が難しかった典型的場面は「現場」です。例えば、事故や事件の現場、工場の現場、営業の現場工事現場など、従来のPCではキーボードやマウスの操作が不可能な場所ばかり。iPadに代表されるタブレット形情報端末の出現でハードウェアはOKとなりました。それではソフトウェアは大丈夫？

「現場」では全てがリアルタイムで変化しています。それらに対応し調査確認・判断し、各種の方法で今起こっている事を記録しておかねばなりません。動画や写真、録音の他文字や図形で記述しておく事も重要です。さらに「なぜそう判断したのか！」や「どう思ったか、感じたか、考えたのか」などの記録こそ最重要かも知れません。

「待ったなし！」のこのような「現場」のニーズに応えられる新しいドキュメント処理や更に画期的な「リアルタイム共有ドキュメント」についてデモを交じえてご説明します。



■一般発表 (27 件)

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■対話発表 (25 件)

(13:00 ~ 14:20 BASE 棟 1 階)

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■イブニングセッション

(17:40 ~ 19:40 エリプス 3 階)

● 9 月 9 日 (金)

■一般発表 (61 件)

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■クロージングセッション

(16:30 ~ 17:00 A 会場 (13 号館 2 階 1321))

6日 講習会

12号館 1階 1211	12号館 1階 1212	12号館 1階 1217
講習会 1 10:00 ~ 17:30 「ユーザーリサーチとサービスデザイン：演習で理解する革新的なサービス改善の考え方と実践法」	講習会 2 10:00 ~ 16:30 「楽しむプログラミングのためのファシリテーションの学びと実践」	講習会 3 13:00 ~ 16:00 「プロジェクションマッピングの実際」

ワークショップ

12号館 1階 1216	12号館 1階 1212	12号館 1階 1213
WS1 10:00 ~ 11:30 「人を対象とする研究の倫理的配慮～看護医療分野の観点から～」	WS2 17:00 ~ 18:30 「ボードゲームは学びのインタフェースになるか？」	WS3 17:00 ~ 18:30 「ハードウェアにちょっと手を出してみるワークショップ」

7日（午前） 一般発表

A会場（13号館 2階 1321）	B会場（講義棟 2階 0021）
1A1 行動とモデル 1 10:20 ~ 12:00 杉原 太郎（岡山大学）	1B1 生理・心理 10:20 ~ 11:40 唐山 英明（富山県立大学）
<ul style="list-style-type: none"> ・1A1-1 「機能」の観点からの飛行場管制業務の分析 青山 久枝（海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所） 狩川 大輔（東北大学） ・1A1-2 スマートフォン情報の併用による PC 作業者の割り込み拒否度推定精度の改善可能性 小室 喬平，藤本 雄一郎，藤田 欣也（東京農工大学） ・1A1-3 レビュー後の期待度および本編鑑賞後の満足度に基づく動画推薦システムの評価モデル 劉 暢，Eric Cooper，亀井 且有（立命館大学） ・1A1-4 飛行場管制業務における情報源の分析 狩川 大輔（東北大学） 青山 久枝（海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所） ・1A1-5 円筒形タッチスクリーンを使用したデジタルサイネージの研究 田中 宏和，三輪 貴信，橋本 周司（早稲田大学） 	<ul style="list-style-type: none"> ・1B1-1 異なる周期での呼吸統制が疲労状態後に与える生理・心理効果 岩本 直人，萩原 啓（立命館大学） ・1B1-2 オフィス業務におけるパワーナップの生体情報を用いた有効性検証 梅松 旭美，辻川 剛範（NEC） ・1B1-3 体圧分布の区画分けと官能評価との関係 松浦 訓人，森田 隼司（早稲田大学），加藤 和人（日本発条） 河合 隆史，三家 礼子（早稲田大学） ・1B1-4 キャンセル ・1B1-5 傾聴リズム変化と振動刺激の複合刺激による生理的・心理的效果 竹内 宏輔，萩原 啓（立命館大学）
昼休み 12:00 ~ 13:00	

12号館 1階 1216	12号館 1階 1217
WS4 17:00～18:30 「真剣 WAKATE しゃべり場」	WS5 17:00～18:30 「身体化認知研究のインタフェース デザインへの応用可能性」

C会場（講義棟 2階 0022）	D会場（講義棟 2階 0023）
1C1 情報サービスのデザイン 10:20～11:20 吉野 孝（和歌山大学）	1D1 身体的インタラクション 1 10:20～12:00 山本 倫也（関西学院大学）
<ul style="list-style-type: none"> ・1C1-1 キャンセル ・1C1-2 効果音と観光情報の提示による観光スポット間の退屈感を低減する観光ナビゲーション 泉 朋子, 北村 尊義, 仲谷 善雄（立命館大学） ・1C1-3 キャンセル ・1C1-4 日本の飲食店利用に関する訪日外国人の行動特性 渡辺 昌洋, 望月 理香, 寺中 晶郁, 森西 優次, 中濱 清志（NTT） ・1C1-5 訪日外国人の飲食店利用をサポートする「Web デザインコンバータ」 望月 理香, 寺中 晶郁, 渡辺 昌洋, 森西 優次, 中濱 清志（NTT） 	<ul style="list-style-type: none"> ・1D1-1 全周囲紐スクリーンを用いた影メディア空間の設計と開発 山口 健斗, 水野 伊吹, 板井 志郎, 三輪 敬之（早稲田大学） ・1D1-2 前腕を利用したメニューウィジェットの提案 小川 修平, 浅井 拓己（立命館大学）, 大槻 麻衣（筑波大学） 柴田 史久, 木村 朝子（立命館大学） ・1D1-3 安心感を与える仮想抱擁システム －姿勢の影響について－ 臼井 晃太, 森川 治（山口大学） ・1D1-4 Gestabase：パブリックスペースにおける三次元ジェスチャデータの自動収集システム 岡 聖志, Kasim Özacar（東北大学） Wei-quan Lu（シンガポール大学） 高嶋 和毅, 北村 喜文（東北大学） ・1D1-5 音声駆動型身体引き込み観客キャラクタを用いた没入できる講演体験システムの開発 田中 一也, 渡辺 富夫, 石井 裕（岡山県立大学）
昼休み 12:00～13:00	

7日 対話発表・ポスター

BASE 棟 1 階		13:00 ~ 14:20
・ P-01 地域活性化のためのメディアスポット推定に向けた位置情報の均質化 木村 公哉 (同志社大学), 塩津 ゆりか (愛知大学) タネヴ イヴァン, 下原 勝憲 (同志社大学)	・ P-13 摂食対象への快・不快音付加が摂食意欲に及ぼす影響 伴野 明, 中元 綾介, 田後 耕平 (東海大学)	
・ P-02 センサシートを用いた嚥下筋活動計測による食品評価 大森 信行, 村澤 智啓, 相澤 淳平 (長野県工業技術総合センター) 百瀬 英哉 (西澤電気計器製作所) 小山 吉人, 栗田 浩, 吉田 宏昭, 上條 正義 (信州大学)	・ P-14 緊急時における電車内での相互扶助を促すシステムデザインの提案 八木 涼平, 北村 尊義, 泉 朋子, 仲谷 善雄 (立命館大学)	
・ P-03 A Study about Influence of Visual Cues and Immersion on Sense of Direction and Distance Maximilien Bellot, Masashi Okubo (Doshisha University)	・ P-15 擬似咀嚼音提示による食感改善技術の開発 ー咀嚼音生成方法の検討ー 遠藤 博史, 金子 秀和, 井野 秀一, 藤崎 和香 (産業技術総合研究所)	
・ P-04 紙媒体と Web の特徴を融合した複合型電子メディアに関する研究 田中 陽菜 (早稲田大学)	・ P-16 交通場面における危険度評価の年齢差 高原 美和 (愛知淑徳大学)	
・ P-05 コミュニケーションを促す遠隔協同学習支援システムの提案と開発 小松 真也, 大久保 雅史 (同志社大学)	・ P-17 便座からの立ち上がり動作における身体的負担に関する実験的検討 近井 学 (産業技術総合研究所) 小澤 恵美 (産業技術総合研究所 / 昭和伊南総合病院) 遠藤 博史, 細野 美奈子 (産業技術総合研究所) 島田 茂伸 (東京都産業技術研究センター) 土井 幸輝 (国立特別支援教育総合研究所) 和田 親宗 (九州工業大学), 井野 秀一 (産業技術総合研究所)	
・ P-06 対面コミュニケーションにおける合意形成推定の一提案 藤本 雄樹, 大久保 雅史 (同志社大学)	・ P-18 対面コミュニケーションにおけるノンバーバル情報の伝達制御の一提案 寺田 朱緒, 大久保 雅史 (同志社大学)	
・ P-07 白杖による探索対象の重さ判断における杖先接触位置の影響 布川 清彦 (東京国際大学) 土井 幸輝 (国立特別支援教育総合研究所) 近井 学, 井野 秀一 (産業技術総合研究所)	・ P-19 交通安全に貢献する視認性の高いデザインの検証 角田 千枝, 門屋 博 (相模女子大学) 川合 康央 (文教大学), 向坂 康文 (桜美林大学)	
・ P-08 対話型遺伝的アルゴリズムを用いた造形デザインに関する研究 望月 純 (早稲田大学)	・ P-20 UPnP と ROS を用いたロボットサービスの検出制御システムの提案 江頭 宏亮, 小嶋 奨, 深澤 高雅, 菅谷 みどり (芝浦工業大学)	
・ P-09 気流通過型映像表示装置を用いたバーチャル扇風機の試作 伴野 明, 西口 葵, 重田 直秀, 鄒 玲 (東海大学)	・ P-21 大規模災害発生時における緊急車両の出動計画策定支援システムの評価と訓練システムへの応用 樋口 雄大, 北村 尊義, 泉 朋子, 仲谷 善雄 (立命館大学)	
・ P-10 没入感の違いが体感温度に及ぼす影響 伴野 明, 朝田 行登, 吉田 直矢 (東海大学)	・ P-22 キャンセル	
・ P-11 3D キャラクタの表情に対するカメラアングルが感情伝達に及ぼす影響 小池 倫弘, 大久保 雅史 (同志社大学)	・ P-23 ショッピングモールにおける大人と子どもの目的の不一致を解決するためのゲームの提案 伊賀 尚美, 若尾 あすか, 鈴木 真生, 松村 耕平, 野間 春生 (立命館大学)	
・ P-12 視覚障がい者におけるタッチパネル端末使用時のユーザビリティ調査 永井 正太郎, 岡田 明 (大阪市立大学)		

BASE 棟 1 階		13:00 ~ 14:20
<ul style="list-style-type: none"> • P-24 Geometric-based Feature Analysis of Differences between Western and East-Asian Expressive Faces Based on Principal Component Scores Gibran Benitez-Garcia, Tomoaki Nakamura, Masahide Kaneko (The University of Electro-Communications) • P-25 キャンセル • P-26 PCSD：外出を快適に演出する Drone の開発 田辺 聡, 香川 莉穂, 保科 篤志, 菅谷 みどり (芝浦工業大学) • P-27 キャンセル • P-28 移乗用リフトと標準型車いすの排泄動作介助量の比較 小澤 恵美 (昭和伊南総合病院 / 山梨大学 / 産業技術総合研究所) 小林 弘, 宮澤 寛志, 小泉 希 (イデアライフケア) 宮嶋 隆司, 北野 哲彦 (長野県工業技術総合センター) 本田 哲三 (飯能靖和病院) 近井 学, 井野 秀一 (産業技術総合研究所) • P-29 教科「道徳」における情報モラル教育 植田 和也, 七條 正典, 松下 幸司, 山本 木ノ実, 谷本 里都子 黒田 勉, 吉原 聖人, 清水 顕人 (香川大学) 		

7日(午後) 一般発表

A会場(13号館2階1321)	B会場(講義棟2階0021)
<p>1A2 知覚・認知 1 14:40 ~ 15:40 萩原 啓 (立命館大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1A2-1 音刺激が視線行動へ及ぼす影響の定量的評価手法に関する基礎的研究 大澤 理恵, 今福 翔太, 白山 晋 (東京大学) ・1A2-2 文字入力型 BCI における誤入力の分析 栗原 龍之典, 田中 久弥 (工学院大学) ・1A2-3 文章、静止画、アニメーションによる提示が内容理解へ及ぼす影響の実験的評価 丸谷 大樹, 田野 俊一, 橋山 智訓 (電気通信大学) 市野 順子 (香川大学) 	<p>1B2 障害者・高齢者支援 1 14:40 ~ 16:00 布川 清彦 (東京国際大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1B2-1 触図作成サービス・ライブラリの国際調査 渡辺 哲也, 加賀 大嗣, 山口 俊光 (新潟大学) ・1B2-2 移動ロボット Dr's Eye を用いた加齢に伴う体全体の歪みの分析と評価 武藤 ゆみ子 (東京工業大学), 菅生 誠 (テレビジネス) 伊藤 穂南, 圓井 楓, 細野 雄一郎, 武藤 剛 (文教大学) ・1B2-3 ウェアラブルセンサを用いた生体信号の取得と睡眠状態の予測 金 恩熙, 森本 一成, 桑原 教彰 (京都工芸繊維大学) ・1B2-4 近距離無線通信を用いた自閉症スペクトラム障害児の距離感計測手法 辻 愛里, 松田 壮一郎, 鈴木 健嗣 (筑波大学)
<p>1A3 コミュニケーション 1 16:15 ~ 17:55 葛岡 英明 (筑波大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1A3-1 複数視点の映像切替支援インタフェース Halo-UI の提案と遠隔オフィスの状況把握効果の評価 深澤 伸一, 立澤 茂, 山口 徳郎, 赤津 裕子, 野中 雅人 (沖電気工業) ・1A3-2 コンピュータ実習をさり気なく支援するシステム構築の検討 小田桐 良一, 稲熊 孝直 (園田学園女子大学) ・1A3-3 知識情報とエージェントを用いたレシピ推薦システム 斉藤 啓太, 浅田 太郎, 吉富 康成, 加藤 亮太, 田伏 正佳 (京都府立大学) ・1A3-4 遠隔オフィスの様子見行動を支援するオフィス間コミュニケーションシステムの評価 山根 大明, 山口 徳郎, 徳満 昌之, 立澤 茂, 野中 雅人 (沖電気工業) ・1A3-5 自動推定された発話特徴量に基づくオフィスにおける会話参与役割の推定可能性 横山 ひとみ, 中山 雅野 (東京農工大学) 堤 智昭 (東京電機大学), 藤田 欣也 (東京農工大学) 	<p>1B3 医療・健康 1 16:15 ~ 16:55 田中 久弥 (工学院大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1B3-1 身体活動量計と心理尺度を用いた人間行動の計測とリハビリ支援の研究 小林 直斗, 白樫 陽太郎, 矢入 郁子 (上智大学) ・1B3-2 キャンセル ・1B3-3 BCI 制御能力向上用シリアスゲームにおけるモチベーション持続方法の改良と初期評価 野村 勇太, 栗飯原 萌, 古市 昌一 (日本大学)

C 会場（講義棟 2 階 0022）	D 会場（講義棟 2 階 0023）
1C2 学習・教育支援 1 14:40 ~ 16:00 渡辺 富夫（岡山県立大学）	1D2 生活インタフェース 14:40 ~ 16:00 木下 雄一郎（山梨大学）
<ul style="list-style-type: none"> ・1C2-1 教育支援のための実空間へ情報を重畳する映像投影システム 浅田 真央, 松田 壮一郎, 鈴木 健嗣 (筑波大学) ・1C2-2 UAV 搭載カメラを利用した注視点計測の人材育成への応用 長谷川 克也 (宇宙航空研究開発機構) ・1C2-3 視覚障がい教育のための教材作成支援システムの開発と評価 江口 諒, 大江 弘樹, 山崎 祐史, 矢入 郁子 (上智大学) ・1C2-4 シミュレーションにより学習意欲を向上させる学習者間インタラクション関係の推定 河原 正人, 谷口 政志, Ellina Rienovita (静岡大学) 林 勇吾 (立命館大学), 竹内 勇剛 (静岡大学) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1D2-1 ウェアラブル端末を用いた飲食店用キッチンディスプレイ操作に関する基礎検討 中洲 俊信, 池 司, 山内 康晋 (東芝), 斉藤 孝浩 (東芝テック) ・1D2-2 貼るだけ探索: RFID タグの検出履歴を利用した物探し支援システムの提案 笹川 真奈, 池松 香, 椎尾 一郎 (お茶の水女子大学) ・1D2-3 天候および外出目的にあった衣服画像を提示するシステム 安井 陸, 渋谷 雄 (京都工芸繊維大学) ・1D2-4 避難所生活での使用を想定した新聞用紙による保温性向上に関する基礎的研究 程塚 悠, 上杉 繁 (早稲田大学)
1C3 モバイル・ウェアラブル 16:15 ~ 17:15 木村 健太（産業技術総合研究所）	1D3 インタフェースデザイン 1 16:15 ~ 17:35 竹内 勇剛（静岡大学）
<ul style="list-style-type: none"> ・1C3-1 就寝前のスマートフォン使用を控えさせるための翌日の予定に基づくメッセージ通知 茂松 浩平, 渋谷 雄 (京都工芸繊維大学) ・1C3-2 特許出願からみた情報端末の筐体・ユーザインターフェースの技術動向 永田 義仁, 寺谷 大亮, 久々宇 篤志, 横田 有光 (特許庁) ・1C3-3 やっちまったぜ脳波を対象にしたドライ電極を備えたウェアラブル脳波計の評価とサポートベクターマシンによる脳波推定 東 佑一朗 (兵庫県立大学 / 情報通信研究機構) 横田 悠右, 成瀬 康 (情報通信研究機構) 	<ul style="list-style-type: none"> ・1D3-1 折り構造をもつ形状変化ディスプレイにおける出力表現の検討 白神 翔太, 増田 愛美, 木下 雄一郎, 郷 健太郎 (山梨大学) ・1D3-2 クチコミ情報を用いた商品比較における情報提示インタフェースの提案 大澤 勇貴, 米村 俊一 (芝浦工業大学) ・1D3-3 音声を用いた Web アンケートシステム 寺中 晶郁, 森西 優次, 浅野 陽子 (NTT) ・1D3-4 キャンセル ・1D3-5 UX デザインアプローチによる会議支援システムの検討 安藤 昌也 (千葉工業大学) 寺村 信介, 大塚 愛子, 國枝 孝之, 村田 淳 (リコー)

8 日（午前） 一般発表

A 会場（13 号館 2 階 1321）		B 会場（講義棟 2 階 0021）	
2A1 非言語コミュニケーション 9:00 ~ 10:20 大久保 雅史（同志社大学）		2B1 障害者・高齢者支援 2 9:00 ~ 10:20 雨宮 智浩 (NTT)	
<ul style="list-style-type: none"> • 2A1-1 対面時の手振り動作計測に基づく 3D ハンドキャラクタの開発 池田 香織, 石井 裕, 渡辺 富夫 (岡山県立大学) • 2A1-2 〈トウフ〉: 非分節音を介した原初的コミュニケーションの可能性 塚本 浩祐, 西脇 裕作, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学) • 2A1-3 ロボットのうなずき表出に向けた人のうなずき行動の分析 木原 快, 福嶋 政期, 苗村 健 (東京大学) • 2A1-4 聞き手のアシストを引き出す幼児発話の不完全さとそのデザイン 西脇 裕作, 吉見 健太, 大塚 信吾, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学) 		<ul style="list-style-type: none"> • 2B1-1 フットセンサと下肢筋電位に基づく歩行開始動作の予測 嘉藤 佑亮, 井上 剛, 小澤 順 (パナソニック) • 2B1-2 重度・重複障害児の反応をとらえる動きの可視化・時系列解析 松田 英子 (東京農工大学) 武長 龍樹, 巖淵 守, 中邑 賢龍 (東京大学) • 2B1-3 紫外線硬化樹脂点字の新規製法開発と点字の触読性評価 土井 幸輝, 西村 崇宏, 武井 眞澄 (国立特別支援教育総合研究所) 梅沢 侑実, 松森 ハルミ (早稲田大学) 和田 勉 (日本点字図書館), 藤本 浩志 (早稲田大学) • 2B1-4 読み書き障がい児の認知特性に合わせた漢字学習ゲームの開発および検討 荒木 雄大, 縄手 雅彦, 伊藤 史人 (島根大学) 	
2A2 知覚・認知 2 10:35 ~ 11:55 大須賀 美恵子（大阪工業大学）		2B2 医療・健康 2 10:35 ~ 11:55 黒田 嘉宏（大阪大学）	
<ul style="list-style-type: none"> • 2A2-1 アバタの内部状態提示によるゲーム中の集中度への影響 武田 星児, 西田 豊明, 大本 義正 (京都大学) • 2A2-2 Effect of Lagged Visual Feedback to Sense of Agency in Back and Forth Hand Movement Osamu Nomura, Yoshihiro Miyake (Tokyo Institute of Technology) • 2A2-3 聴覚刺激による集団 P300 を用いた多数決 藤田 晃佑, 唐山 英明 (富山県立大学) • 2A2-4 タブレット端末を用いた描画作業と計数作業の二重課題による高齢者と若年者の比較 狩野 秀典, 藤原 克哉, 水戸部 一孝 (秋田大学) 		<ul style="list-style-type: none"> • 2B2-1 病院内物品輸送支援システムの試作及び評価 西山 敏樹 (東京都市大学), 松田 篤志 (中国科学院) 三村 将 (慶應義塾大学) • 2B2-2 最尤推定法による部分面型 LI の歩幅変更意図の検出 夏神 龍之介, 矢野 博明, 澁谷 長史, 岩田 洋夫 (筑波大学) • 2B2-3 スマートフォンを用いた涙液層の安定性評価法の開発 岡崎 善朗, 武長 龍樹, 三宅 琢, 巖淵 守 (東京大学) 大久保 俊之 (立川相互病院), 横井 則彦 (京都府立医科大学) • 2B2-4 慢性疼痛における増悪因子特定のための記録活動支援システム要件に関する検討 北原 亮宏, 五福 明夫, 杉原 太郎, 佐藤 健治, 三宅 貫太郎 (岡山大学) 	
昼休み		11:55 ~ 13:00	

C 会場（講義棟 2 階 0022）	D 会場（講義棟 2 階 0023）
<p>2C1 学習・教育支援 2 9:00 ~ 10:20 辻野 嘉宏（京都工芸繊維大学）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2C1-1 外部学習ライブラリによる Julius の精度向上の研究 多々納 俊治, 縄手 雅彦, 伊藤 史人 (島根大学) 酒向 慎司 (名古屋工業大学) • 2C1-2 プログラミングにおけるメンタルモデルを考慮した学習支援システムの提案 成澤 優樹, 米村 俊一 (芝浦工業大学) • 2C1-3 タンジブルなツールを用いたプログラミングの協調学習 本吉 達郎, 増田 寛之, 小柳 健一, 大島 徹 (富山県立大学) 川上 浩司 (京都大学) • 2C1-4 クッション型学習支援デバイスの複数人向け最適情報提示手段の検討 嘉藤 憲史, 鶴岡 秀樹, 後藤 隆太郎 (上智大学) 横田 悠右, 成瀬 康 (情報通信研究機構), 矢入 郁子 (上智大学) 	
<p>2C2 VR・AR 10:35 ~ 11:35 伊藤 雄一（大阪大学）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2C2-1 VR 空間における直観的なモデリングのための振り掛け動作の特徴抽出 松谷 里沙子, 藤原 克哉, 水戸部 一孝 (秋田大学) • 2C2-2 多視点裸眼立体視ディスプレイ LuminantCube の開発と評価 遠藤 竜太, 大橋 由暉 (京都大学) 藤井 巧哉 (ソフトバンクロボティクス) 石井 裕剛, 下田 宏 (京都大学) • 2C2-3 内視鏡外科手術における医療過誤防止の医療 AR システムの提案 Ainiwaer Maihefureti, 田野 俊一, 橋山 智訓 (電気通信大学) 岩田 満 (東京都立産業技術高等専門学校) 	<p>2D2 交通・安全 10:35 ~ 11:55 仲谷 善雄（立命館大学）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 2D2-1 鉄道運転作業時の心理的動揺における瞳孔径変化の基礎的検討 秋保 直弘, 中川 千鶴, 吉江 幸子, 小島 崇, 池畑 政輝 鈴木 綾子 (鉄道総合技術研究所) 牛場 潤一 (慶應義塾大学) • 2D2-2 トラブル報告文の事態進展パターンの認識 中田 亨 (産業技術総合研究所) • 2D2-3 車のシートに関する体圧分布の分類方法の提案 森田 隼司, 松浦 訓人 (早稲田大学), 加藤 和人 (日本発条) 河合 隆史, 三家 礼子 (早稲田大学) • 2D2-4 車いすセンシングによる走行時負担の定量化とその評価 大森 涼, 長峯 洸弥 (上智大学), 岩澤 有祐, 松尾 豊 (東京大学) 矢入 郁子 (上智大学)
昼休み	
	11:55 ~ 13:00

8日 対話発表・デモ

BASE 棟 1 階		13:00 ~ 14:20
<ul style="list-style-type: none">・ D-01 卓上投影型 AR における視認性を維持するラベル投影手法の提案 市橋 啓太, 石川 剛, 藤波 香織 (東京農工大学)・ D-02 複人数の座圧重心変動による部屋の状況推定 三上 光司, 矢野 史朗, 近藤 敏之 (東京農工大学)・ D-03 データグローブを用いた AR 音響空間における視覚障害者向けジェスチャインタフェース 藤原 大陸, 石田 大顕, 片山 遼介, 高尾 秀伸 (神奈川工科大学)・ D-04 ARmKeypad: 腕を仮想キーボード化するスマートグラス UI 則枝 真, 仙洞田 充, 吉本 誠 (NEC)・ D-05 アバタ媒介型見守りシステムの提案と通信性能評価 長谷川 大, 小林 裕 (青山学院大学), 白川 真一 (横浜国立大学) 佐久田 博司 (青山学院大学), 安彦 智史 (仁愛大学) 中山 栄純 (北里大学)・ D-06 3D ダイアル型ウィジェットを用いた指先による文字入力手法の検討 小佐々 宏海, 大西 克彦 (大阪電気通信大学)・ D-07 デザイン支援のための白内障色覚表現法の検討 笠原 光輝, 塚田 敦史 (名城大学), 池田 卓美 (東洋インキ) 青井 清一 (TOTO), 張 彦芳 (4allDesign/九州大学) 藤垣 善昭 (リンナイ)・ D-08 没入型 VR システムを介した運動観察が身体意識に及ぼす影響 長嶺 伸, 矢野 史朗, 近藤 敏之 (東京農工大学)・ D-09 聴覚障害学生に対する実技演習を支援する触覚情報提示デバイス SZCAT 鈴木 拓弥 (筑波技術大学 / 工学院大学) 小林 真 (筑波技術大学), 長嶋 祐二 (工学院大学)・ D-10 キャンセル・ D-11 キャンセル・ D-12 自分の声合成ソフト「ボイスター」の携帯版に関する評価と考察 高野 哲朗, 渡辺 聡 (ヒューマンテクノシステム東京)	<ul style="list-style-type: none">・ D-13 大学アイドルプロジェクト 田中 里穂, 森田 ちあき, 日吉 優佳, 吉水 梢, 奥山 沙貴 中村 優里, 川合 康央 (文教大学)・ D-14 旧東海道藤澤宿景観シミュレーションシステムの開発 川合 康央, 土手 光貴, 富樫 尚繁, 鈴木 隆太, 寺島 雄大 沼田 和真, 藤井 謙, 西野 良祐 (文教大学)・ D-15 メンタルヘルスクエアを目的とした小型ニューロフィードバックシステムの評価 奥村 壮太, 柳澤 一機, 網島 均 (日本大学)・ D-16 多視点裸眼立体視ディスプレイ LuminantCube のキャリブレーション手法 大橋 由暉, 遠藤 竜太 (京都大学), 藤井 巧哉 (ソフトバンク) 石井 裕剛, 下田 宏 (京都大学)・ D-17 任意物体を入力に用いる創作支援デジタルペイントシステム UnicrePaint における物体情報取得手法 小坂 真美, 藤波 香織 (東京農工大学)・ D-18 重度障害者による表面筋電位波形の随意的コントロールを目的とした訓練手法の提案 伊藤 史人 (島根大学) 門脇 和央 (London School of Economics and Political Science) 縄手 雅彦 (島根大学)・ D-19 体感個人特性を考慮した高齢者向け空調制御システム 田中 秀治, 桐山 伸也 (静岡大学)・ D-20 〈MoCoMo〉: 多声的な情報環境における宛名性の効用について 新保 智喝, 石川 将輝, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学)・ D-21 ジェスチャを利用した仮想空間上での多人数向けマインドマップツールの実装と評価 宮杉 証行, 赤池 英夫, 中山 泰一, 角田 博保 (電気通信大学)・ D-22 患者中心型デザインワークショップにおけるファシリテーションのタイプ 西山 里利 (目白大学), 西山 敏樹 (東京都市大学) 塩瀬 隆之 (京都大学)	

招待講演 1 (1 号館 1 階グリーンホール)

14:50 ~ 15:50

「インタラクティブな知能ーインテリジェンスからインタラクションへ」

山田 誠二 (国立情報学研究所)

招待講演 2 (1 号館 1 階グリーンホール)

16:10 ~ 17:10

「待ったなしの「現場」に適応した新ドキュメント処理とは」

浮川 和宣 (MetaMoJi)

イブニングセッション (エリプス 3 階)

17:40 ~ 19:40

BASE 棟 1 階		13:00 ~ 14:20
<ul style="list-style-type: none"> • D-23 手首一周型ディスプレイ装着時の常時視認可能な情報表示位置の動的推定手法 谷田 佑貴, 小枝 功次郎, 藤波 香織 (東京農工大学) • D-24 心エコーシミュレータのための簡易型インタフェース開発 田村 莞爾, 広田 光一, 野嶋 琢也 (電気通信大学) 杉浦 清了 (UT-Heart 研究所), 久田 俊明 (東京大学) • D-25 視聴覚情報による歩容変化を目的とした歩容フィードバック装置の提案 岡崎 大輝, 安藤 優人, 高田 悠輔 (文教大学) 小林 洋平 (脳機能研究所), 武藤 剛 (文教大学) • D-26 〈マコにて〉: つないだ手を介して引き出される志向的な構えについて 林 直樹, 深町 建太, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学) • D-27 空間的な移動を考慮した3次元視聴覚ディスプレイシステムとコンテンツデザインシステム 藤澤 理央, 梅田 尚哉, 比良 圭佑, 山本 知仁 (金沢工業大学) 		
招待講演 1 (1 号館 1 階グリーンホール) 「インタラクティブな知能ーインテリジェンスからインタラクションへ」 山田 誠二 (国立情報学研究所)		14:50 ~ 15:50
招待講演 2 (1 号館 1 階グリーンホール) 「待ったなしの「現場」に適応した新ドキュメント処理とは」 浮川 和宣 (MetaMoJi)		16:10 ~ 17:10
イブニングセッション (エリプス 3 階)		17:40 ~ 19:40

9日(午前) 一般発表

A会場(13号館2階1321)	B会場(講義棟2階0021)
<p>3A1 入出力デバイス 9:00 ~ 10:20 郷 健太郎(山梨大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3A1-1 車用広範囲視線計測装置に関する研究 廣江 葵, 長松 隆(神戸大学) Gerhard Rigoll(ミュンヘン工科大学) ・3A1-2 干渉低周波法を用いた手指制御ウェアラブルデバイスの提案 黒田 悠介, 田野 俊一, 橋山 智訓, 丸谷 大樹(電気通信大学) ・3A1-3 湿度制御による弱存在感ディスプレイ 鋒山 健太, 加藤 銀河, 黒田 嘉宏, 清川 清, 竹村 治雄(大阪大学) ・3A1-4 BedRemo: 寝室空間における寝具を用いたインタラクションの提案と実装 飯沢 奈緒(お茶の水女子大学), 升田 枝里(野村総合研究所) 椎尾 一郎(お茶の水女子大学) 	<p>3B1 障害者・高齢者支援 3 9:00 ~ 10:20 梶谷 勇(産業技術総合研究所)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3B1-1 車いすセンシングと畳み込みニューラルネットを利用した路面特徴の推定と蓄積 高橋 宏紀(上智大学), 岩澤 有祐(東京大学) 長峯 洸弥(上智大学), 松尾 豊(東京大学) 矢入 郁子(上智大学) ・3B1-2 津波避難支援システム: 避難先候補入力機能の検討 本道 真依, 米村 俊一(芝浦工業大学) ・3B1-3 3次元アニメーションによる医療用手話辞書の作成 渡辺 桂子, 南川 真穂, 長嶋 祐二(工学院大学) 加藤 直人, 内田 翼, 梅田 修一, 宮崎 太郎, 東 真希子 比留間 伸行(NHK放送技術研究所) ・3B1-4 シリアスゲームによる重度障害者のスイッチ操作支援 門脇 和央, 伊藤 史人, 縄手 雅彦(島根大学)
<p>3A2 知覚・認知 3 10:35 ~ 11:55 小谷 賢太郎(関西大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3A2-1 オフィス環境における知的集中計測のための認知課題の開発 上田 樹美, 辻 雄太, 下田 宏, 石井 裕剛(京都大学) 大林 史明(パナソニック) 谷口 和宏(パナソニック エコシステムズ) ・3A2-2 ウェアラブル脳波計を用いた運動および記憶課題中のワークロード推定 横田 悠右, 成瀬 康(情報通信研究機構) ・3A2-3 両眼式及び単眼式拡張現実提示時における中心視負荷が視野周辺の情報処理に与える影響 北村 昭彦, 紀ノ定 保礼(大阪大学) 木村 貴彦(関西福祉科学大学), 篠原 一光(大阪大学) 佐々木 隆, 奥村 治彦, 堀田 あいら(東芝) ・3A2-4 冬季における室内気流環境が知的集中に及ぼす影響の実験研究 杉田 耕介(京都大学), 古田 真也(NTTファシリティーズ) 石井 裕剛, 下田 宏(京都大学), 大林 史明(パナソニック) 谷口 和宏(パナソニック エコシステムズ) 	<p>3B2 学習・教育支援 3 10:35 ~ 11:55 竹村 治雄(大阪大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3B2-1 ウェアラブル脳波計による学習集中度の計測と着座姿勢との相関関係の調査 後藤 隆太郎, 鶴岡 秀樹(上智大学) 横田 悠右, 成瀬 康(情報通信研究機構) 矢入 郁子(上智大学) ・3B2-2 BYOD向けの端末教室の提供方式に関する考察と選択 櫻田 武嗣, 三島 和宏, 萩原 洋一(東京農工大学) ・3B2-3 A Semi-Automatic Marking of Descriptive Questions in English Thanh Xuan Thi Lam, Cuong Tuan Nguyen, Masaki Nakagawa (Tokyo University of Agriculture and Technology) ・3B2-4 ベイズ定理に基づく語義分類モデルの構築及び単純ベイズ分類器による正確な予測 高橋 直明, 古川 宏(筑波大学)
昼休み	
	11:55 ~ 13:00

C 会場 (講義棟 2 階 0022)		D 会場 (講義棟 2 階 0023)	
3C1 身体的インタラクション 2 9:00 ~ 10:20 山本 知仁 (金沢工業大学)		3D1 感性・情動 1 9:00 ~ 10:20 渋谷 雄 (京都工芸繊維大学)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3C1-1 人-ロボット間のノンバーバルインタラクションにおける認知的適応の分析 柴崎 貴正, 竹内 勇剛 (静岡大学) ・ 3C1-2 抱きしめられた感覚を与える仮想抱擁の触力覚・温熱覚の効果的な提示について 吉田 拓洋, 杉村 紘平, 森川 治 (山口大学) ・ 3C1-3 Quantitative Analysis of Body Motion Synchrony During Tripartite Face-to-face Communication Xiaoqian Fang, Shunichi Amano, Kenichiro Ogawa Yoshihiro Miyake (Tokyo Institute of Technology) ・ 3C1-4 Playing the Body : 多様な身体動作を誘発して作曲を支援するシステムの提案と試作 奈尾 隼人 (富士通四国インフォテック) 市野 順子, 田坂 涼, 垂水 浩幸, 安藤 一秋 (香川大学) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 3D1-1 食品画像が「しずる感」に与える影響 福住 伸一, 木曾 宏顕 (NEC), 笠松 慶子 (首都大学東京) 渡邊 伸行, 神宮 英夫 (金沢工業大学) ・ 3D1-2 NIRS を用いた視覚刺激呈示時における快不快情動の識別 柳澤 一機, 小西 賢太郎, 村下 直樹, 綱島 均 (日本大学) ・ 3D1-3 リアルタイム表情分析・表示システム 嶋田 亮一, 浅田 太郎, 吉富 康成, 田伏 正佳 (京都府立大学) 成本 迅 (京都府立医科大学) ・ 3D1-4 周辺領域を考慮した色彩感情の予測手法の提案 増田 晴香, 篠沢 佳久 (慶應義塾大学) 	
3C2 エンタテインメントと学び 10:35 ~ 11:15 藤野 秀則 (福井県立大学)		3D2 運転者支援 10:35 ~ 11:55 三宅 美博 (東京工業大学)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3C2-1 BGM 自動再生システムにおける「悲しい」印象の強化方略に関する基礎的検討 山口 元気, 米村 俊一 (芝浦工業大学) ・ 3C2-2 INAMO : ロボットを介した共同的な遊びとコミュニケーションについて 香川 真人, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学) ・ 3C2-3 キャンセル 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 3D2-1 自転車周囲へのヘッドライトの色温度操作による衝突回避支援 朴木 俊也, 伊藤 誠 (筑波大学) ・ 3D2-2 ウェアラブルデバイスを想定した眼電位ならびに頭部運動関連パラメータを用いたドライバーの運転余裕評価 横尾 壮一郎, 乙川 友佑, 西内 信之, 茅原 崇徳 (首都大学東京) 山中 仁寛 (甲南大学), 森島 圭祐, 大本 浩司 (ヤマハ発動機) ・ 3D2-3 非熟練ドライバのための運転支援エージェント 島崎 景子, 三宮 千尋, 山崎 寛恵, 那和 一成 (トヨタ IT 開発センター) ・ 3D2-4 後側方車両に対するリスクパーセプションに基づく車線変更時操舵プロテクション 豊田 健志, 伊藤 誠 (筑波大学) 	
昼休み		11:55 ~ 13:00	

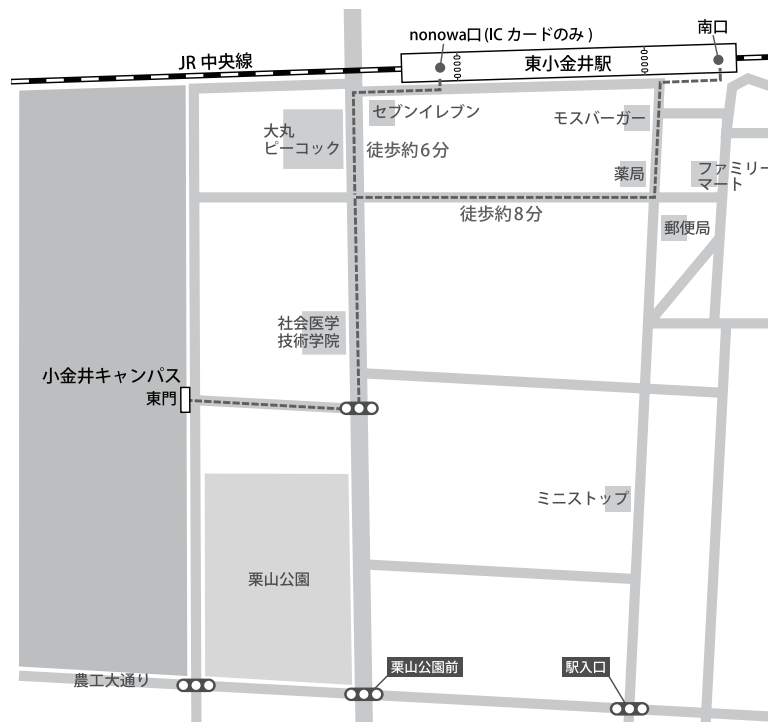
9日(午後) 一般発表

A会場(13号館2階1321)		B会場(講義棟2階0021)	
3A3 障害者・高齢者支援 4 13:00 ~ 14:20 近井 学 (産業技術総合研究所)		3B3 視線インタフェース 13:00 ~ 14:00 板倉 直明 (電気通信大学)	
<ul style="list-style-type: none"> • 3A3-1 平仮名版 DEM を用いた定型児童による音読検査の詳細分析 北田 翔吾, 長嶋 祐二 (工学院大学) 築田 明教, 川端 秀仁 (かわばた眼科/視覚発達支援センター) • 3A3-2 ADHD に関するハイブリッドモデルに着目した訓練ソフトの開発 金子 和弘, 伊藤 史人, 縄手 雅彦 (島根大学) • 3A3-3 黙って観るためのインタフェース ～重度・重複障害の子どもの定位反応を探る～ 武長 龍樹 (東京大学), 松田 英子 (東京農工大学) 松村 礼央, 巖淵 守, 中邑 賢龍 (東京大学) • 3A3-4 手話の空間的特徴に基づく映像圧縮を用いた災害情報伝達システム －キーフレーム映像による手話伝達の了解度の検証－ 秋山 滉太 (芝浦工業大学), 筒口 拳 (NTT) 米村 俊一 (芝浦工業大学) 		<ul style="list-style-type: none"> • 3B3-1 眼球の光軸中心回転体モデルに基づく視線計測手法による強膜反射時の視線推定 荒井 悠, 亀山 真由子, 長松 隆 (神戸大学) 山本 倫也 (関西学院大学) • 3B3-2 アイコンタクトと間接入力を導入した新たな視線入力インタラクションの提案 石田 大海, 田野 俊一, 橋山 智訓, 丸谷 大樹 (電気通信大学) • 3B3-3 光軸と視軸のズレを用いた個人認証システムの開発 酒井 大貴, 山本 倫也 (関西学院大学), 長松 隆 (神戸大学) 福森 聡 (関西学院大学) 	
3A4 行動とモデル 2 14:35 ~ 15:35 福住 伸一 (NEC)		3B4 医療・健康 3 14:35 ~ 15:55 椎尾 一郎 (お茶の水女子大学)	
<ul style="list-style-type: none"> • 3A4-1 プラント運転における手順の不遵守に結びつく要因の実験的探求 山岡 晟造, 杉原 太郎, 五福 明夫 (岡山大学) • 3A4-2 キャンセル • 3A4-3 飲食店ホール新人支援のためのタスクの部分的重ね合わせによる次行動提示システム 吉田 全孝, 山本 景子, 倉本 到, 辻野 嘉宏 (京都工芸繊維大学) • 3A4-4 起立動作支援装置における支援タイミングの評価 井上 剛, 嘉藤 佑亮, 小澤 順 (パナソニック) • 3A4-5 キャンセル 		<ul style="list-style-type: none"> • 3B4-1 上肢リズムアシストによる上下肢位相差と歩行周期の変化 長島 輝匡 (東京工業大学) 廣部 祐樹 (東京工業大学 /JST CREST) 関 雅俊, 中山 正之 (菊池製作所) 三宅 美博 (東京工業大学 /JST CREST) • 3B4-2 透析装置の故障修理における臨床工学技士の注視点分析 前田 佳孝 (早稲田大学), 鈴木 聡 (神奈川工科大学) 小松原 明哲 (早稲田大学) • 3B4-3 心拍に基づき楽曲を自動再生してジョギングのペースを誘導するシステムの誘導特性 清水 孝俊, 米村 俊一 (芝浦工業大学) • 3B4-4 ユーザの休日における外出を促すための外出目的提示システム 樋口 葉介, 渋谷 雄 (京都工芸繊維大学) 	
クロージングセッション (A会場(13号館2階1321))		16:30 ~ 17:00	

C 会場 (講義棟 2 階 0022)		D 会場 (講義棟 2 階 0023)	
3C3 ユーザビリティ 13:00 ~ 14:00 鱗原 晴彦 (U'eyes Design)		3D3 感性・情動 2 13:00 ~ 14:20 石井 裕 (岡山県立大学)	
<ul style="list-style-type: none"> • 3C3-1 小説のあらすじ創作を支援するシステム ～フリック操作におけるユーザビリティの評価 神取 敬矩, 米村 俊一 (芝浦工業大学) • 3C3-2 ERM による経験評価 ～ユーザ調査における UX 評価手法～ 黒須 正明 (放送大学), 橋爪 絢子 (首都大学東京) • 3C3-3 スマホ首の回避と使いやすさの向上を目指したスマホの操作姿勢 廣川 敬康, 東 敬之, 糸瀬 健一, 渋谷 唯司, 速水 尚, 大政 光史 (近畿大学) 		<ul style="list-style-type: none"> • 3D3-1 ビデオ映像中の人物への応答時を対象とした表情分析システム 浅田 太郎, 吉富 康成, 田伏 正佳 (京都府立大学) 成本 迅 (京都府立医科大学) • 3D3-2 購買行動に関する心理状態の脳波による判別 小倉 悠佑, 秋山 福生, 畠山 洋祐 (インタラクティブイニシアティブ) • 3D3-3 自己決定理論に基づいた運動習慣を支援するインタラクティブ コンテンツ 窪田 尚洋, 小木 哲朗 (慶應義塾大学) • 3D3-4 同調心理を考慮した幼児の食べ物好き嫌い克服支援システム 北村 尊義 (立命館大学), 中野 はるか (クラブツーリズム) 泉 朋子, 仲谷 善雄 (立命館大学) 	
3C4 コミュニケーション 2 14:35 ~ 16:15 武藤 剛 (文教大学)		3D4 インタフェースデザイン 2 14:35 ~ 16:15 高嶋 和毅 (東北大学)	
<ul style="list-style-type: none"> • 3C4-1 CMC と FTF における主観的自己開示量の比較 ～アンケート調査と実験室実験の実施～ 渋谷 恵, 福住 伸一 (NEC), 坂元 章 (お茶の水女子大学) • 3C4-2 聴覚メディアを利用した料理人とお客のセミダイレクトコミュニケーション支援システムの提案 池田 信 (セキスイハイム東四国) 市野 順子, 田坂 涼, 垂水 浩幸, 安藤 一秋 (香川大学) • 3C4-3 視覚障害者と晴眼者のコラボレーション空間デザインの研究 黒澤 慎治, 川崎 直毅, 鈴木 あゆ美, 大森 正太郎, 野口 嵩人 矢入 郁子 (上智大学) • 3C4-4 依頼者の要求に柔軟に対応するシェアードサービス組織の特徴 の抽出 田丸 恵理子 (富士ゼロックス) 古久根 敦, 新村 敦子 (NTT データ) • 3C4-5 ノードの特性を反映した複雑ネットワーク分析手法の提案 天野 俊一, 小川 健一郎, 三宅 美博 (東京工業大学) 		<ul style="list-style-type: none"> • 3D4-1 家電製品のデザインプロセスへの応用をねらいとしたユーザエク スペリエンス評価手法の構築とアプリケーション化 宮原 愛 (慶應義塾大学) 荒井 秀文, 河原 健太, 山崎 友賀 (三菱電機) 中西 美和 (慶應義塾大学) • 3D4-2 腕時計型端末に特化した文字入力手法のための 2cm × 2cm タッ チボード 坂 香太郎, 田中 敏光, 佐川 雄二 (名城大学) • 3D4-3 モーションセンサを用いた情報端末操作の設置環境変化による 正確性の評価 前畑 健太, 神田 幸治 (名古屋工業大学) • 3D4-4 折り構造をもつフレキシブルディスプレイにおける入力ジェス チャの検討 坂本 凌, 木下 雄一郎, 郷 健太郎 (山梨大学) • 3D4-5 視覚障害者向けナビゲーションシステムの開発 ～買い物行動におけるフィールド調査～ 石田 大顕, 藤本 健作, 藤原 大陸, 片山 良介, 高尾 秀伸 (神奈川工科大学) 	
クロージングセッション (A 会場 (13 号館 2 階 1321))		16:30 ~ 17:00	

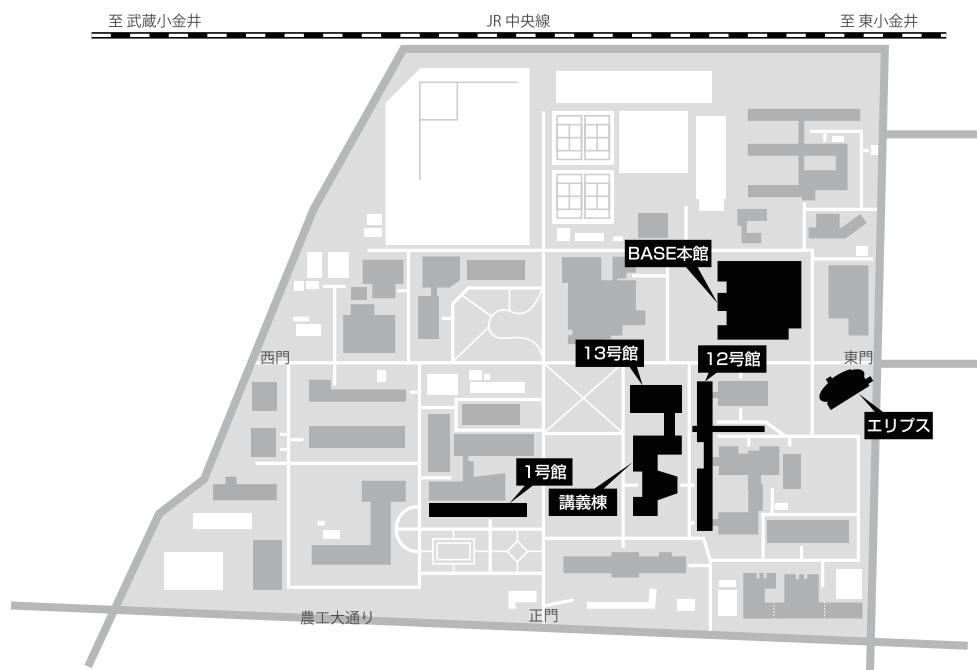


●会場までの交通



・ JR 中央線「東小金井駅」下車、南口徒歩約 8 分、nonowa口 徒歩約 6 分

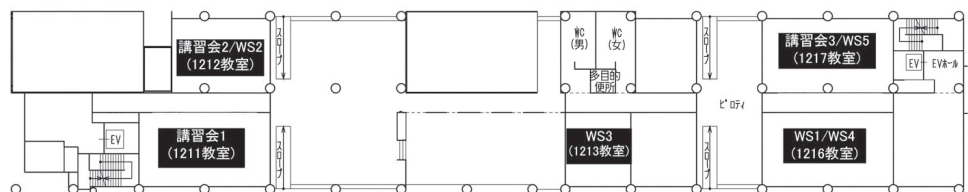
●施設案内図



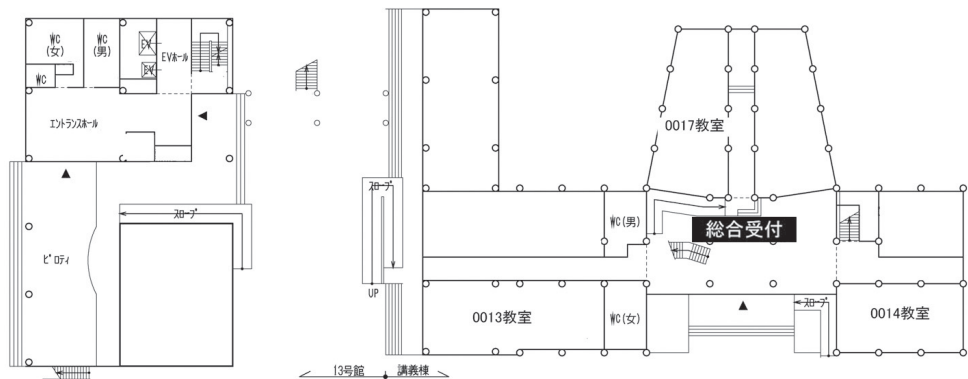


●会場図

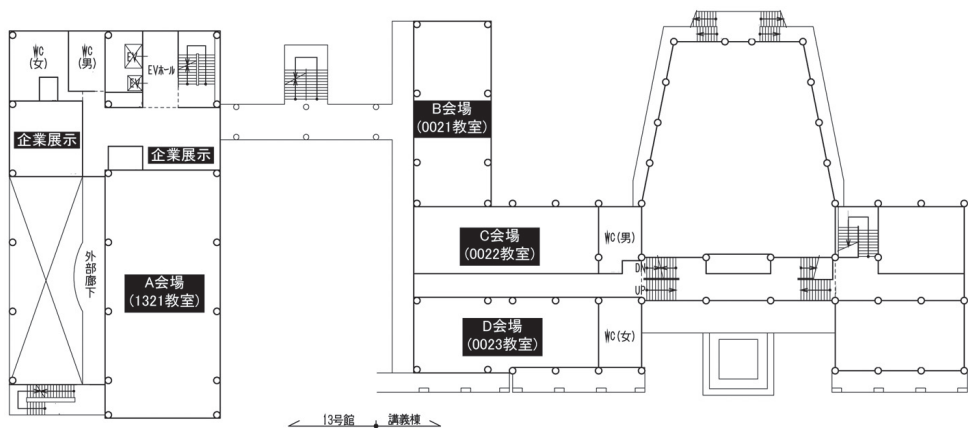
12号館 1階



13号館・講義棟 1階



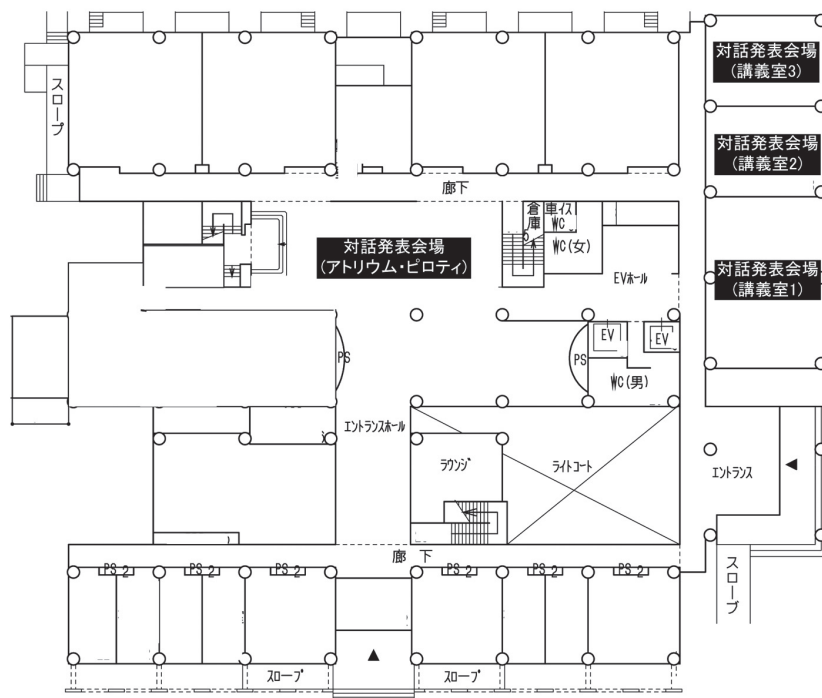
13号館・講義棟 2階



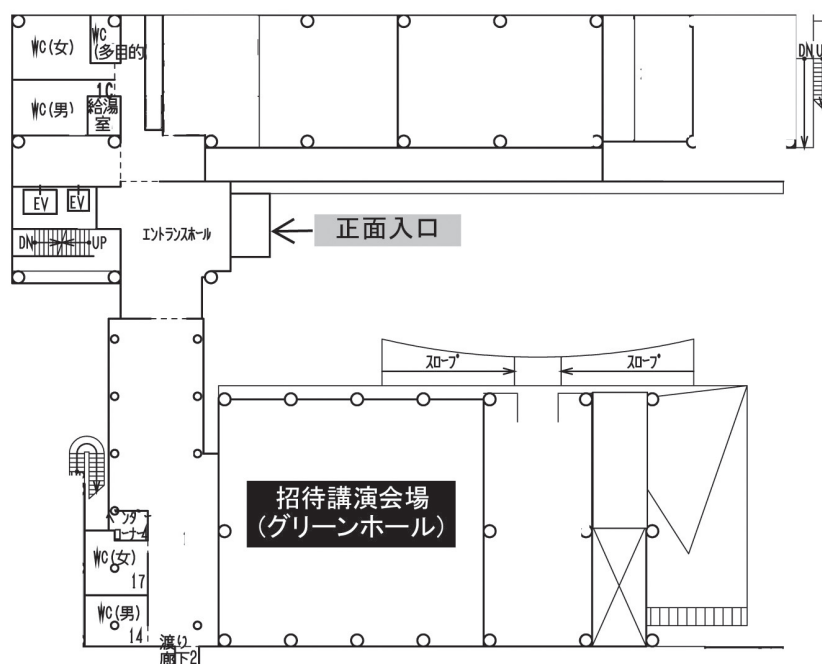


●会場図

BASE 棟



1 号館 1 階





●参加費と参加申込

■参加費

	事前価格 (8/29(月)迄) (3) ※		当日価格 (8/30(火)以降) (3) ※		
	《発表と聴講》	《聴講》	《発表と聴講》	《聴講》	Evening Session
学会員 協賛会員	13,000- (1) (2)	13,000- (2)	15,000- (1) (2)	15,000- (2)	5,000-
非会員	21,000- (1) (2)	21,000- (2)	24,000- (1) (2)	24,000- (2)	5,000-
学生会員 協賛会員	13,000- (1) (2)	2,000- (2)	15,000- (1) (2)	2,000- (2)	5,000-
非会員学生	21,000- (1) (2)	9,000- (2)	24,000- (1) (2)	10,000- (2)	5,000-
資料のみ	-	8,000- (4)	-	8,000- (4)	-

(1) 複数発表の場合、件数分の参加費が必要です。

(2) 参加費には、講習会・ワークショップ・DVD論文集代金が含まれております。

(3) 事前価格は2016年8月29日(月)にお振り込み完了の方に限り適用となります。

※8月29日(月)午後3時以降のお振込みは8月30日(火)のお振込みとなりますのでご注意ください。

詳細は各金融機関へご確認ください。

(4) 後日送付の場合は別途送料が必要となります。

※東京農工大学在学の学生については、聴講のみ学生会員価格での参加が可能になります。

※Evening Sessionは9/8(木)開催。

9/1(木)正午以降のイブニングセッションキャンセルについてはイブニングセッション参加費の返金は行いませんのでご注意ください。

■申込方法

- ・ URL <https://www.his.gr.jp/sympo/his2016.html> からオンライン申込できます。
- ・ 参加申込書を下記の申込先へ FAX または郵送でお送り下さい。

■参加費の振込先

郵便振替：

口座番号：00940-6-136424

口座名：特定非営利活動法人ヒューマンインタフェース学会

銀行振込：三菱東京 UFJ 銀行 西七条支店 普通預金

口座番号：3566234

口座名：特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会

■お問合せ先

特定非営利活動法人

ヒューマンインタフェース学会事務局

〒600-8815

京都市下京区中堂寺栗田町 93 番地

京都リサーチパーク 6 号館 3 階

TEL：075-315-8475 FAX：075-326-1332

E-mail：his-symp@his.gr.jp

URL：<https://www.his.gr.jp/sympo/his2016.html>

Human Interface 2017 OSAKA

ヒューマンインタフェースシンポジウム
2017

開催予告

2017年9月4日(月)～7日(木)

大阪工業大学

●発表形式と内容

一般発表(発表15分+討論)(予定)

新しい研究成果の報告や提案など。英語による発表も一般発表として受け付けます。

対話発表

実機や実演を取り込んだ対話形式による発表です。

参加者の投票によるプレゼンテーション賞の表彰を予定しております。

企業展示

ヒューマンインタフェース関連の製品や商品の紹介を歓迎します。

●発表申込

2017年6月12日(月)(予定)までにお申し込み下さい。

申込は申込書を事務局から取り寄せるか、学会ホームページ
(<http://www.his.gr.jp/>) をご覧下さい。

●問合先

特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会事務局

〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93番地

京都リサーチパーク6号館3階

TEL: 075-315-8475 FAX: 075-326-1332

E-mail: his-symp@his.gr.jp

URL: <http://www.his.gr.jp/>